

クラシック × オペラ × バレエ × 和楽器
これは融合ではない。新しい文化の誕生である。



Monday, January 10, 2022

YCC Yamanashi Prefectural Culture Hall



山梨の芸術家たち オーケストラと舞臺

主催 公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会 / やまなしステージ・アート・プロジェクト2021実行委員会
協力 天野会 / 有泉ムジカ・アカデミー / 風カヲル時 / 顕栄会 / 富士山おもしろオペラ劇場 / 龍山会 / 若尾バレエ学園
後援 山梨県 / 公益社団法人日本バレエ協会
山梨日日新聞・山梨放送 / 毎日新聞甲府支局 / 朝日新聞甲府総局 / 読売新聞甲府支局 / 産経新聞甲府支局
テレビ山梨 / エフエム富士 / エフエム甲府 / 山梨中央銀行 / 富士急行株式会社



ようこそ! すっげえ舞台へ

やまなしステージ・アート・プロジェクト2021実行委員会
委員長 成澤 千香子



新年あけましておめでとうございます。

この2年間、新型コロナウイルスにビクビクしながら過ごす日々が続いておりましたが、今年はマスクの中ではありますが、笑顔でお正月を迎えることが出来ました。

芸術文化も、真っ暗なトンネルから少しずつ抜け出し、明るい兆しが見えてきたように感じています。

新型コロナウイルス感染症における全ての生活の停滞期は一見後ろ向きに思えましたが、実は私たちには何が足りず、何に希望を持って今の時代を切り抜け、どのように次代に繋げていけるのか、深く考える絶好の機会となりました。

文化庁などではこの未曾有の事態を切り抜けるための補助金制度が数多く出ていることを知り、アートキャラバン事業「JAPAN LIVE YELL project」に参画出来ることとなりました。国内外で活躍している、山梨に縁の深いアーティストたちに声掛けしたところ、あっという間に意見が纏まり、「やまなしステージ・アート・プロジェクト」が誕生。今回の音楽は、多くの出演者が作曲・編曲を手掛け、この日のための素晴らしい楽曲が生まれています。

芸術や文化のみならず、産業も教育も全てコラボレーションから成り立っています。単に交じり合うのではなく、それぞれ個の高い修練が一緒に重なり合い生み出されるインパクト「衝撃の瞬間」。

今日ここにお集り頂いた客席の方々には、舞台を育てていただきながら、舞台上上がるアーティストたちと一緒に楽しんでいただけたらと、希望に燃え準備を重ねて参りました。全てはこの舞台の「瞬間」に完成いたします。

また、このような状況の中でも企画に賛同し、舞台制作、後方支援などなど、ご協力して下さった全ての方々に心から感謝申し上げます。

まだまだ収まらないウイズコロナ時代。どの催しも厳しい状態は続きますが、文化や芸術が我々人の心の安らぎとなり、希望を作る唯一無二の存在であることには変わりないと確信しております。そのひと時を皆様と共に。

さあ、「すっげえ舞台」。未来に向かって“序章”の幕開きです!!

【すっげえ1】 往年の名歌姫三浦環へのオマージュ作品 「ラ・ボエーム」ハイライトコンサート

～愛と夢に生きた若者たちの物語～

1830年代のパリ。若い芸術家の卵が4人、屋根裏部屋で暮らしている。そのうちの1人詩人のロドルフォは、寒いクリスマス・イブの夜、お針子のミミと出会い恋に落ちる。

幸せな生活もつかの間、2月のある寒い日、重い肺病を患っているミミを看病することができないロドルフォは、嘘をついて別れを告げる。ミミもこれ以上ロドルフォに迷惑をかけるにしのびず、彼と別れる決意をする。

それからしばらくたった、冬のある日。瀕死のミミがロドルフォのもとへ運ばれてくる。2人は最後に愛を確かめ合い、ミミは眠るように息を引きとる。

～『三浦環』の思い出深い作品～

三浦環(1884～1946)は、ジャコモ・プッチーニ(伊)が作曲した「蝶々夫人」、その主役である蝶々さん役を日本人として初めて海外で歌い、成功をおさめた国際的オペラ歌手。

日本に帰国する直前、パレルモ(伊)の歌劇場でミミ役を演じている。帰国後は、戦時中のため美しい富士山が見える、山梨県の山中湖村に疎開。墓地が山中湖畔にある寿徳寺にある。

本日は、三浦環没後75周年を記念し構成された舞台を、本場イタリアで声楽を学んだオペラ歌手が歌い上げます。

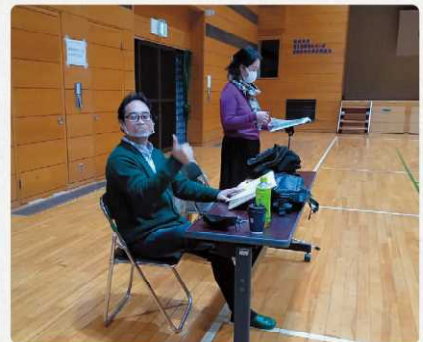
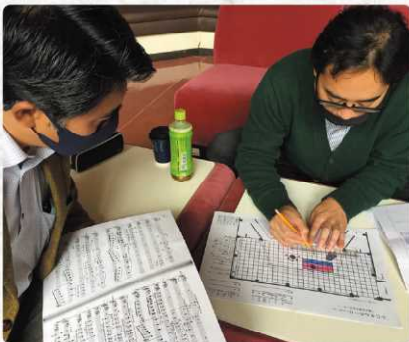
出演者

ミミ：土井尻 明子／ロドルフォ：大澤 歩土／ムゼッタ：前原 加奈

マルチェッロ：水島 正樹／タキ爺：須賀 力哉

ピアノ：松岡 なぎさ

演出：松岡 幸汰／演出補：高橋 正尚／字幕：細田 詩織



【すっげえ2】

生誕100周年記念 ピアソラスペシャルコンサート

縛られない自由表現の可能なジャズのスタイル、アルゼンチンタンゴの独特なリズム感と官能的な表現法や旋律、そしてクラシックの確立された作曲様式などの要素を融合して生み出された新たな音楽、それが革命児アストール・ピアソラの世界。

2021年生誕100年、22年没後30年を迎え、コロナなどの問題がなければ今頃世界中で盛んに演奏会が催されていたことでしょう。踊りに向かないタンゴとも言われていても、近年フィギュアなどリズムカルなスポーツやモダンダンスなど幅広い分野で今でも使われ愛されて続けるピアソラの世界。代表作はチェリスト、ヨーヨー・マの出演したウィスキーのCMで演奏された「リベルタンゴ」。ピアソラの名が日本中に知れ渡ったのもこの時からだったのではないのでしょうか。

どんなライブも必ず録音する習慣があったため、彼の演奏した記録は多く残されています。アベマリアとして作曲され映画用の改名は「tanti anni prima(昔々)」。数ある「天使シリーズ」の中、今回は「天使の死」を演奏します。そして自由(liberty)なタンゴ「リベルタンゴ」と言う名の通り、録音も1度として同じ演奏が無い。

プログラムの最後はイタリアの古典大作曲ヴィヴァルディの「四季」を意識して作られた「ブエノスアイレスの四季」から「秋、冬、春」をお贈りします。

出演者

ヴァイオリンI：内野 佑佳子・牛山 舞／ヴァイオリンII：福田 勝太
チェロ：有泉 芳史／コントラバス：大黒屋 宏昌
ピアノ：有泉 悠子



【すっげえ3】

クラシック楽器と和楽器 コラボレーションライブ

言葉の壁を越えて、音楽は世界を一つにする。2008年結成から、ライブの他、逢坂剛原作の映画『ナイトピープル』や「信玄公祭り」の音楽を作曲制作するなど、山梨県を拠点に全国で活動する純和風ジャズ・ユニットの代表メンバー岩間龍山(尺八)、大嶽香子(ピアノ)、前田タクヤ(和太鼓／ドラム)の代表3人と、チェリスト有泉芳史が自身の音楽人生の中で出会った厳選されたメンバーで構成される「アンサンブルFUJI」の代表者内野佑佳子(ヴァイオリン)、大黒屋宏昌(コントラバス)牛山舞(ヴァイオリン)、福田翔太(ヴァイオリン)の主力メンバー5名の総勢8名の共演の舞台。

歌謡曲などで見かける伴奏に徹する弦楽合奏のイメージを覆す、和楽、ジャズ、クラシック、ポップスが融合するそれぞれが妥協しない音をぶつけ合う協奏ならぬ競奏の舞台。

今回披露するのは「風カヲル時」のオリジナル曲の中から「花鳥風月」と「青の龍」です。そしてこの日限り、二度と再現されない競演となることは必至。ソリスト達の即興パフォーマンスをお見逃しなく、そして和と洋の融合をご堪能ください。

出演者

ヴァイオリンI：内野 佑佳子・牛山 舞／ヴァイオリンII：福田 勝太
チェロ：有泉 芳史／コントラバス：大黒屋 宏昌
尺八：岩間 龍山／和太鼓：前田 タクヤ・山口 琳平
津軽三味線：福嶋 孝顕／ピアノ：大嶽 香子



【すっげえ4】

バレエと和楽器の創作作品 「響」Part II

沸き起こる「鼓動と感動」

舞台には、国境も人種も全く関係のない世界が広がっています。

私たち一人一人は時代と共に進み、著しく変革しなくてはならない時代に突入しましたが、不変を追い続けようとする力も大きくなっています。共に感動し、共に涙し、共に笑う。ネット社会になり、この当たり前の感情を表すことが難しくなってきたように感じます。

「響」は、和と洋が交じり合い、音と音、人と人が重なり、光と空間の中で新しい世界が現れます。

ダンサー浅田良和はクラシックバレエ界のトップスターとして活躍し、コンテンポラリーダンサー上野天志はヨーロッパを中心に活動。共にダンス界第一人者のダンスをお楽しみください。女性ダンサー高村・関・大橋は現在もこの山梨のバレエ界を牽引する三人。クロスを演じる四人も加え、次代につなげる舞台を踊ります。

演奏は国内外で活躍し、山梨に新しい風を作り出している各界のトップ奏者6名。

ダンサー・演奏者、全て山梨に縁のあるメンバーで繰り上げられる特別プログラムとなっています。

舞台で奏で・演じる者から、観・聴く皆さまへ。また舞台に立つ者は客席からの眼差しの奥にある光を感じながら。今宵、ここで生まれる各々の一瞬のストーリーを体感ください。

出演者

ダンサー：浅田 良和・上野 天志・高村 明日賀・関 菜々美・大橋 日向子
石原 湧・武石 朱香・大森 葉月・成澤 香菜子

尺八：岩間 龍山／和太鼓：前田 タクヤ・山口 琳平／津軽三味線：福嶋 孝顕

チェロ：有泉 芳史／ピアノ：大嶽 香子／振付：石井 竜一

書：大橋 洋之



やまなし舞台 芸術祭

スタッフ

照明	立川 直也(満平舎)
音響	若尾 さとる
舞台監督	平沢 元彦
アナウンス	佐藤 和子
印刷デザイン	山田 耕三
題字	大橋 洋之

やまなしステージ・アート・プロジェクト2021実行委員会

委員長	成澤 千香子
副委員長	土井尻 明子
委員	有泉 芳史・岩間 龍山
	加藤 信一(アドブレーション・共立・NTTファシリティーズ共同事業体)